

週報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天-国の真の主人になろう

2016 年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2016 年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：石垣 重広

み言

『 祈りと精誠 』

(天聖教 P874~875)

18 皆さんに必要なことは、祈りと精誠です。自分が自ら復活した位置に立ったのでしょうか。復活した位置に立てなかったとすれば、切実に求める位置に立ったのでしょうか。信仰をもちながら、環境に責任をもち得る自らになったのでしょうか。私たちは、そのようにはなっていません。ですから、祈りが重要です。祈りは、生死の基準を動かす能動性をもっています。そのような祈りを捧げるのは、大変なことです。「私」が見上げるほど高く、広い塔を積むとすれば、どれほど忙しいのでしょうか。広くて高い塔を積もうとすれば、どれほど忙しいかというのです。それを50年なら50年の間にすべて積み上げなければならないと誓ったとすれば、休む暇がないのです。

19 先生は、祈りが最も威力のあるものと信じています。不可能を可能にすることができるからです。統一教会では祈りを強調しますが、ほかの特別な方法で祈るのではありません。しかし、その内容は異なるのです。「自分自身のために祈ってはいけない」というのが先生の教えです。自らの使命のために、そして他の人のために、また自分の祈りが慰労の言葉として神様に伝えられるようにしなさい、と教えています。

20 難しい問題があるときは、祈りを捧げて解決していかねばなりません。それでは、祈りはなぜするのでしょうか。祈りとは、神様の心情的基準を中心として関係を結ぶものです。ある問題を中心として、真の意味で国を心配し、神様を心配する思いで祈りを捧げれば、神様は、必ず前後を教えてくださいます。そのような役事は、いくらでも あります。

21 私たちは外的に伸びて行くことよりも、精神を統一して内的に深く追求していく道を模索しなければなりません。これが今日、キリスト教で言う、「祈りの生活」です。皆さんが目的を立てておき、それを成就させようとする祈りよりも、神様の考えに接して、神様が語りたいと思われるみ言を体恤し、それを実践するという祈りが、より貴重なのです。ですから、祈りを捧げるために、静かな所を訪ねていくのです。

22 祈りの生活をすれば、形容できない喜びが訪れます。その境地が、創世前の神様の心の境地です。皆さんがそのような境地で、「こうだ！」という内容をもって説明できる立場に立つとすれば、その立場は、正に神様が天地万物を創造された立場だというのです。神様がみ言で被造物を創造された立場です。そのような境地でみ言を宣布しなければなりません。そうすれば、人々も必ずそのようなみ言に触れようとするのです。

23 皆さんが祈りを捧げようとするれば、一日の日課を始める前にしなければなりません。ですから、最も重要な時間が早朝です。早朝が最も重要な時間帯です。この時に祈らなければなりません。深い祈りをするとき、自分が今まで全く感じてみたことのない分野を感じてみるためには、自分を中心とした祈りをしてはいけません。国家なら国家、世界なら世界という、大きな目的を中心として祈らなければならないのです。